

(2) 配水池の能力

上水道事業における配水池の整備状況を見ると、平成 30 年度は、配水池総数 830 池、総有効容量 2,393 千 m^3 となり、平成 29 年度より池数で5池増加し、有効容量で8千 m^3 増加している。(表一六) 配水池貯留能力は、給水に対する安定性を示す指標の一つであり、平成 30 年度は、0.80 日である。

表一六 配水池容量（上水道）

平成30年度			
区 分	池 数 (池)	有 効 容 量 (千 m^3)	配水池貯留能力 (日) ※
大 阪 市	54	681	0.61
大阪市を除く市町村	776	1,712	0.91
府 計	830	2,393	0.80

※配水池貯留能力 (日) = 有効容量 (m^3) / 一日平均配水量 (m^3 /日)

(3) 配水管

平成 30 年度における上水道事業の配水管総延長は 23,215.6 kmであり、配水管容量は 934 千 m^3 で、平成 29 年度に比べ総延長で 0.3%の増加となり、配水管容量では 0.2%の増加となっている。(表一七)

表一七 配水管延長と容量（上水道）

平成30年度				
区 分	配水管延長 (m)	配水管容量 (m^3)	現在給水人口 1人当り容量 (L)	給水可能面積 1ha当り容量 (L)
大 阪 市	5,133,616	472,337	173	20,973
大阪市を除く市町村	18,082,012	462,086	76	4,204
府 計	23,215,628	934,423	106	7,056